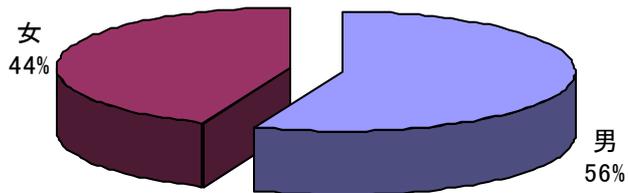


高校生アンケート調査結果

(ア)あなたの性別は

性別	平成17年度		平成9年度	
	計	構成比	計	構成比
男	174	56.1%	206	50.4%
女	136	43.9%	200	48.9%
無回答	0	0.0%	3	0.7%
合計	310	100.0%	409	100.0%

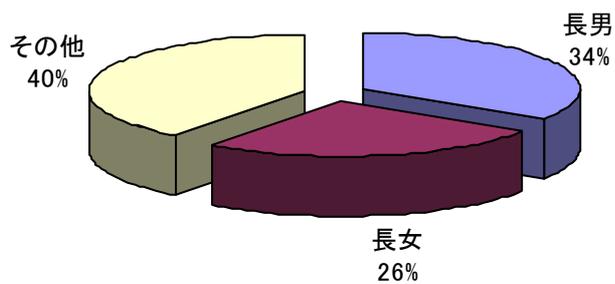
性別



(イ) あなたの続柄は

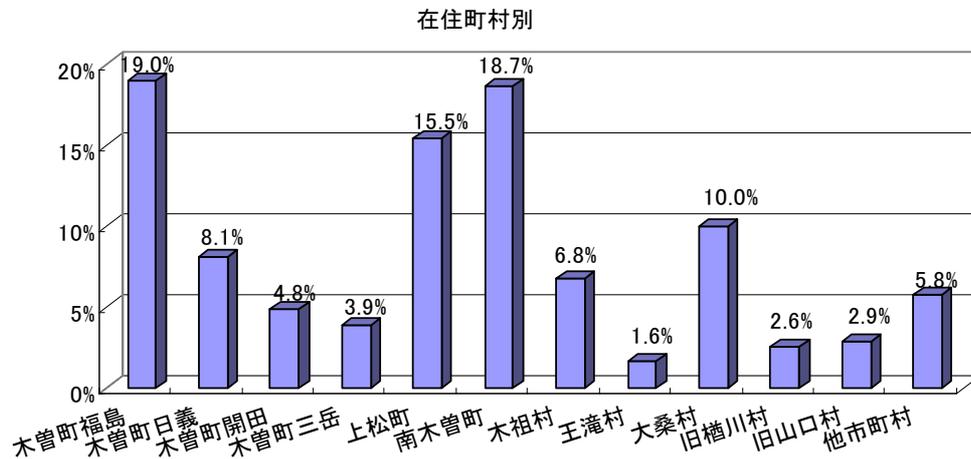
続柄	平成17年度		平成9年度	
	計	構成比	計	構成比
長男	106	34.2%	124	30.3%
長女	80	25.8%	122	29.8%
その他	123	39.7%	162	39.6%
無回答	1	0.3%	1	0.3%
合計	310	100.0%	409	100.0%

続柄



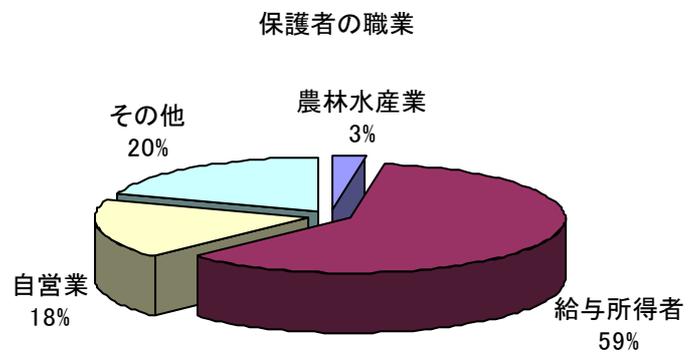
(ウ)あなたの住んでいる町村はどこですか

在住町村	平成17年度		平成9年度	
	計	構成比	計	構成比
木曾町福島	59	19.0%	75	18.3%
木曾町日義	25	8.1%	27	6.6%
木曾町開田	15	4.8%	16	3.9%
木曾町三岳	12	3.9%	13	3.2%
上松町	48	15.5%	69	16.9%
南木曾町	58	18.7%	56	13.7%
木祖村	21	6.8%	27	6.6%
王滝村	5	1.6%	10	2.4%
大桑村	31	10.0%	45	11.0%
旧榑川村	8	2.6%	8	2.0%
旧山口村	9	2.9%	14	3.4%
他市町村	18	5.8%	44	10.8%
無回答	1	0.3%	5	1.2%
総計	310	100.0%	409	100.0%



(1) あなたの保護者は、主としてどのような職業に従事していますか。

保護者の職業	計	構成比
農林水産業	8	2.6%
給与所得者	185	59.7%
自営業	54	17.4%
その他	61	19.7%
無回答	2	0.6%
総計	310	100.0%

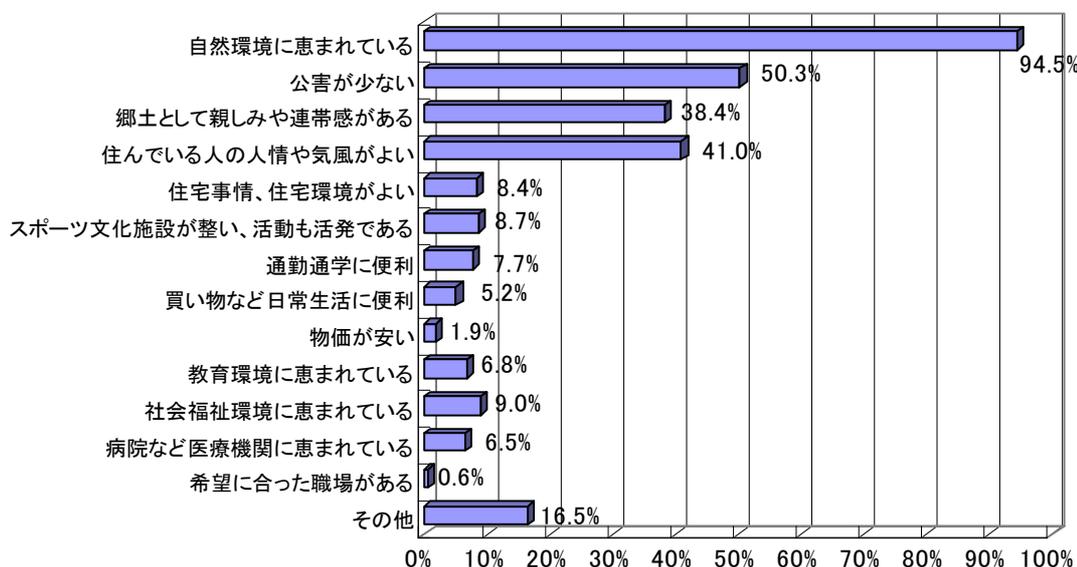


(2) あなたの住んでいる町村のよいと思う点はどれですか。(三つ回答)

「自然環境に恵まれている」と回答した人が 94.5%と圧倒的である。続いて「公害が少ない」(50.3%)、「住んでいる人の人情や気風がよい」(41.0%)、「郷土として親しみや連帯感がある」(38.4%)の順となっている。

	計	構成比
自然環境に恵まれている	293	94.5%
公害が少ない	156	50.3%
郷土として親しみや連帯感がある	119	38.4%
住んでいる人の人情や気風がよい	127	41.0%
住宅事情、住宅環境がよい	26	8.4%
スポーツ文化施設が整い、活動も活発である	27	8.7%
通勤通学に便利	24	7.7%
買い物など日常生活に便利	16	5.2%
物価が安い	6	1.9%
教育環境に恵まれている	21	6.8%
社会福祉環境に恵まれている	28	9.0%
病院など医療機関に恵まれている	20	6.5%
希望に合った職場がある	2	0.6%
その他	51	16.5%
回答数	310	100.0%

木曾地域のよいと思う点

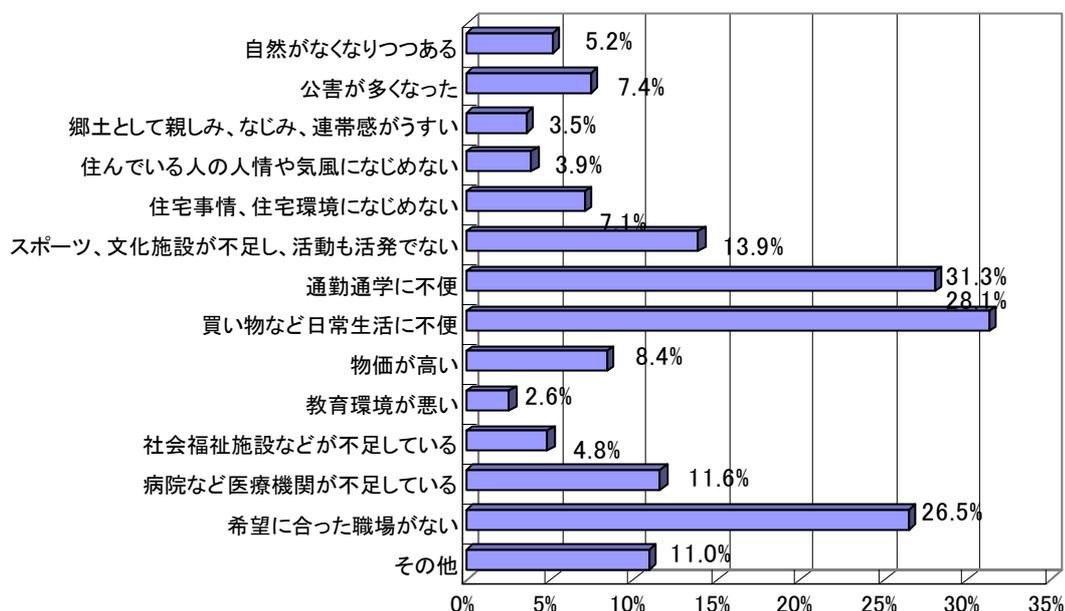


(3) あなたの住んでいる町村の悪いと思う点はどれですか。(三つ回答)

「買い物など日常生活に不便」(31.3%)、「通勤通学に不便」(28.1%)と移動に関する項目に不満を感じていることが分かる。また「希望に合った職場がない」が26.5%であり、高校生として将来を不安視していることが分かる。

	計	構成比
自然がなくなりつつある	16	5.2%
公害が多くなった	23	7.4%
郷土として親しみ、なじみ、連帯感がうすい	11	3.5%
住んでいる人の人情や気風になじめない	12	3.9%
住宅事情、住宅環境になじめない	22	7.1%
スポーツ、文化施設が不足し、活動も活発でない	43	13.9%
通勤通学に不便	87	28.1%
買い物など日常生活に不便	97	31.3%
物価が高い	26	8.4%
教育環境が悪い	8	2.6%
社会福祉施設などが不足している	15	4.8%
病院など医療機関が不足している	36	11.6%
希望に合った職場がない	82	26.5%
その他	34	11.0%
回答数	310	100.0%

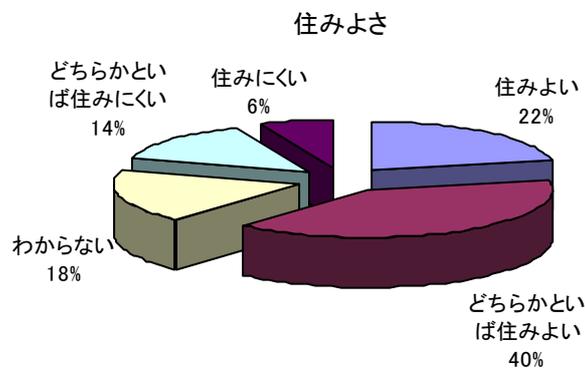
木曾地域の悪いと思う点



(4) 総合的に見てあなたの住んでいる町村は住みやすいと思いますか

「住みよい」(21.6%)、「どちらかといえば住みやすい」(40.0%)と答えた人の割合が6割を超えており、「住みにくい」(6.4%)、「どちらかといえば住みにくい」(13.9%)と答えた人の割合より大きい。

	計	構成比
住みよい	67	21.6%
どちらかといば住みよい	124	40.0%
わからない	56	18.1%
どちらかといば住みにくい	43	13.9%
住みにくい	20	6.4%
合計	310	100.0%



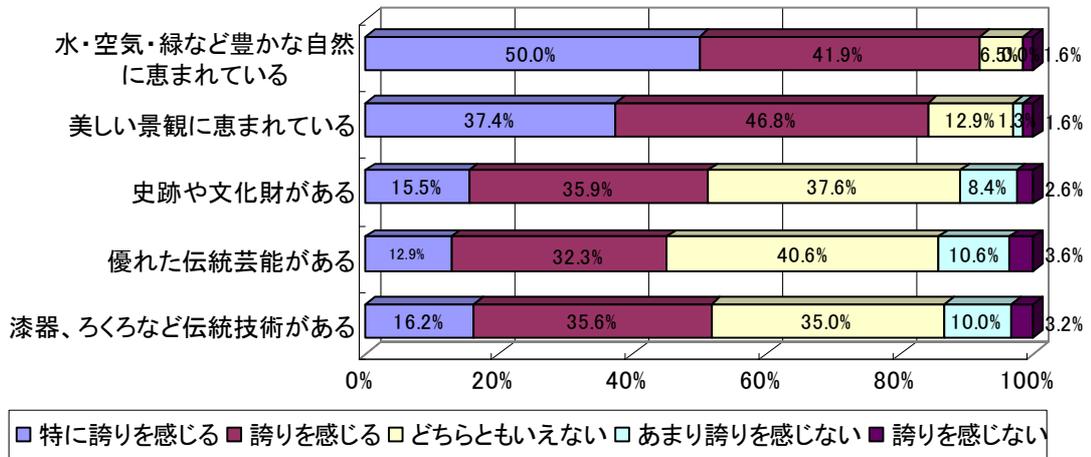
(5) あなたは木曾のどのようなところに誇りを感じますか

「1. 特に誇りを感じる」と「2. 誇りを感じる」と答えた人の割合が60%を超える要素を抽出すると、「自然に恵まれている」(91.9%)「美しい景観に恵まれている」(84.2%)であり、自然的資源を誇りとする意向が見て取れる。またその割合は前回(平成9年度)調査時より若干増加している。「史跡や文化財がある」(51.4%)や「優れた伝統芸能がある」(45.2%)、「伝統技術がある」(51.8%)といった人文的要素は相対的に重要度が低い結果となった。

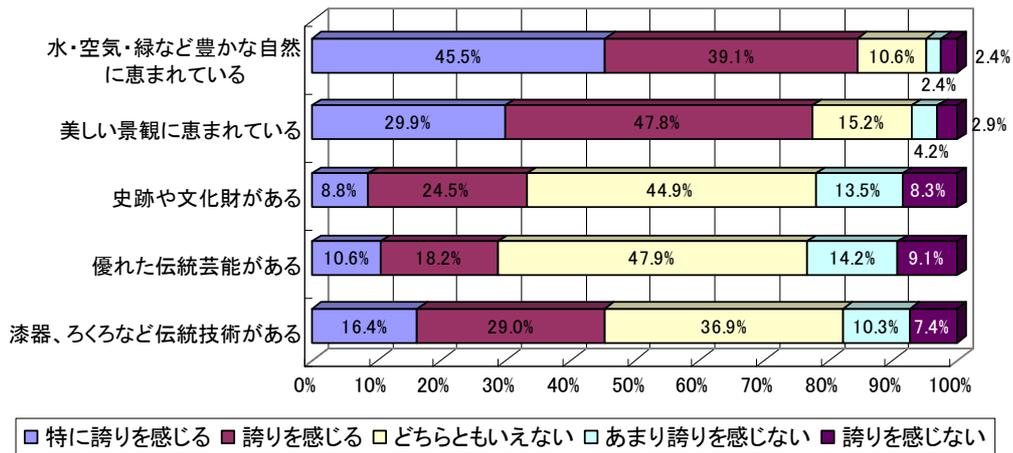
		1	2	3	4	5	合計
水・空気・緑など豊かな自然に恵まれている	平成17年度	155 50.0%	130 41.9%	20 6.5%	0 0.0%	5 1.6%	310 100.0%
	平成9年度	185 45.5%	159 39.1%	43 10.6%	10 2.4%	10 2.4%	407 100.0%
美しい景観に恵まれている	平成17年度	116 37.4%	145 46.8%	40 12.9%	4 1.3%	5 1.6%	310 100.0%
	平成9年度	122 29.9%	195 47.8%	62 15.2%	17 4.2%	12 2.9%	408 100.0%
史跡や文化財がある	平成17年度	48 15.5%	111 35.9%	116 37.6%	26 8.4%	8 2.6%	309 100.0%
	平成9年度	36 8.8%	100 24.5%	183 44.9%	55 13.5%	34 8.3%	408 100.0%
優れた伝統芸能がある	平成17年度	40 12.9%	100 32.3%	126 40.6%	33 10.6%	11 3.6%	310 100.0%
	平成9年度	43 10.6%	74 18.2%	195 47.9%	58 14.2%	37 9.1%	407 100.0%
漆器、ろくろなど伝統技術がある	平成17年度	50 16.2%	110 35.6%	108 35.0%	31 10.0%	10 3.2%	309 100.0%
	平成9年度	67 16.4%	118 29.0%	150 36.9%	42 10.3%	30 7.4%	407 100.0%

1 特に誇りを感じる 2 誇りを感じる 3 どちらともいえない 4 あまり誇りを感じない 5 誇りを感じない

木曽地域のどこに誇りを感じるか(平成17年度)



木曽地域のどこに誇りを感じるか(平成9年度)



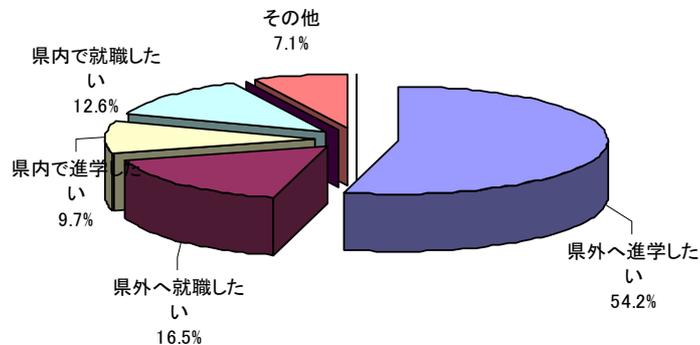
(6)－1 あなたの高校卒業後の進路についてどのように考えていますか

進学と就職の比率をみると、進学が 63.9%、就職が 29.0%となっている。進学を希望するもののうち約 85%が県外への進学を希望している。

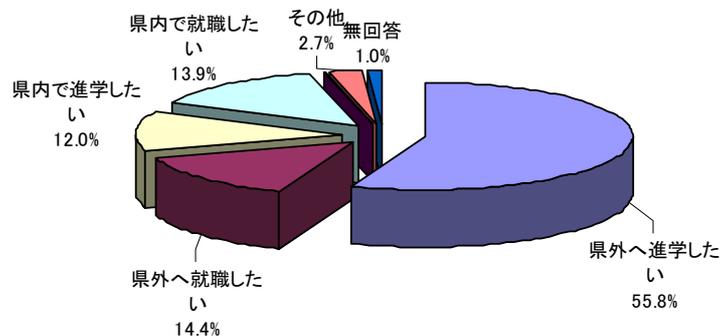
	平成17年度		平成9年度	
	計	構成比	計	構成比
県外へ進学したい	168	54.2%	228	55.8%
県外へ就職したい	51	16.4%	59	14.4%
県内で進学したい	30	9.7%	49	12.0%
県内で就職したい	39	12.6%	57	13.9%
家業に就く	0	0.0%	1	0.2%
その他	22	7.1%	11	2.7%
無回答	0	0.0%	4	1.0%
合計	310	100.0%	409	100.0%

	木曾高校		木曾山林高校		蘇南高校	
	計	構成比	計	構成比	計	構成比
県外へ進学したい	102	76.7%	18	25.3%	48	45.3%
県外へ就職したい	5	3.8%	9	12.7%	37	34.9%
県内で進学したい	14	10.5%	8	11.3%	8	7.5%
県内で就職したい	4	3.0%	24	33.8%	11	10.4%
家業に就く	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	8	6.0%	12	16.9%	2	1.9%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	133	100.0%	71	100.0%	106	100.0%

高卒後の進路について(平成17年度)



高卒後の進路について(平成9年度)



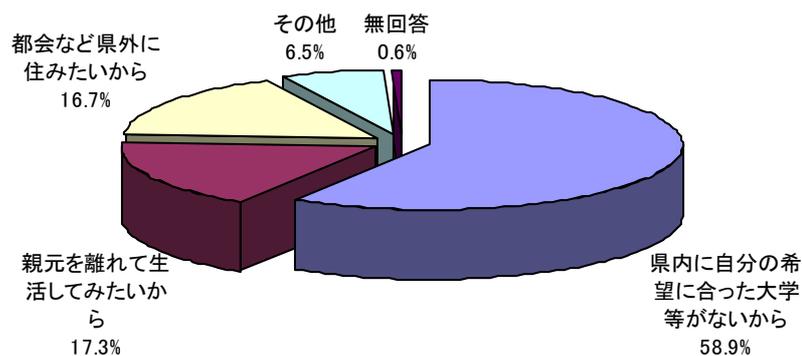
(6)－2 (6)－1で1と答えた方にうかがいます。

A. 県外へ進学したい主な理由は何ですか

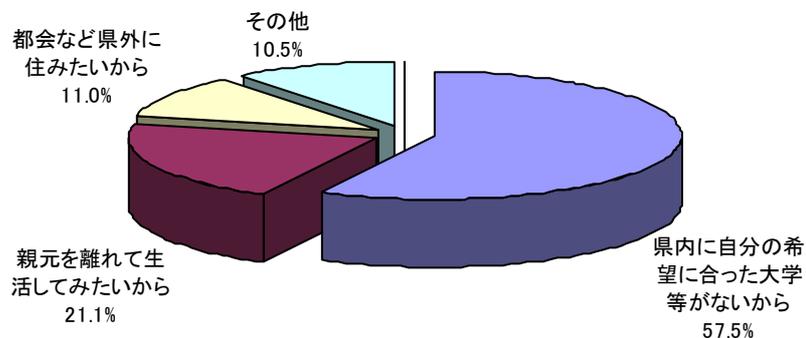
県内に自分の希望に合った大学等がないから」が58.9%を占め、ついで、「親もとを離れて生活してみたいから」(17.3%)、「都会など県外に住みたいから」(16.7%)となっている。

	平成17年度		平成9年度	
	計	構成比	計	構成比
県内に自分の希望に合った大学等がないから	99	58.9%	131	57.5%
親元を離れて生活してみたいから	29	17.3%	48	21.1%
都会など県外に住みたいから	28	16.7%	25	10.9%
その他	11	6.5%	24	10.5%
無回答	1	0.6%	0	0.0%
回答数	168	100.0%	228	100.0%

県外へ進学したい理由(平成17年度)



県外へ進学したい理由(平成9年度)

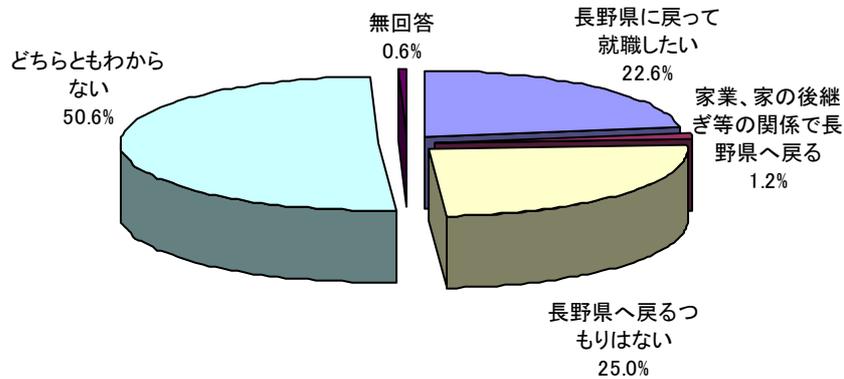


B. 大学等卒業後の予定はどう考えていますか

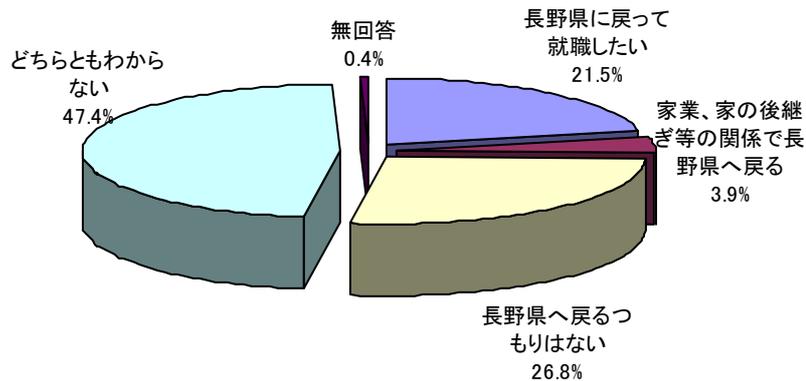
約半数の人が「どちらともわからない」と回答しているが、「長野県へ戻るつもりはない」と答えた人が25.0%に対し、何らかの意味で長野県へ戻ると答えた人の合計が23.8%と拮抗している。

	平成17年度		平成9年度	
	計	構成比	計	構成比
長野県に戻って就職したい	38	22.6%	49	21.5%
家業、家の後継ぎ等の関係で長野県へ戻る	2	1.2%	9	3.9%
長野県へ戻るつもりはない	42	25.0%	61	26.8%
どちらともわからない	85	50.6%	108	47.4%
無回答	1	0.6%	1	0.4%
回答数	168	100.0%	228	100.0%

大卒後の予定(平成17年度)



大卒後の予定(平成9年度)



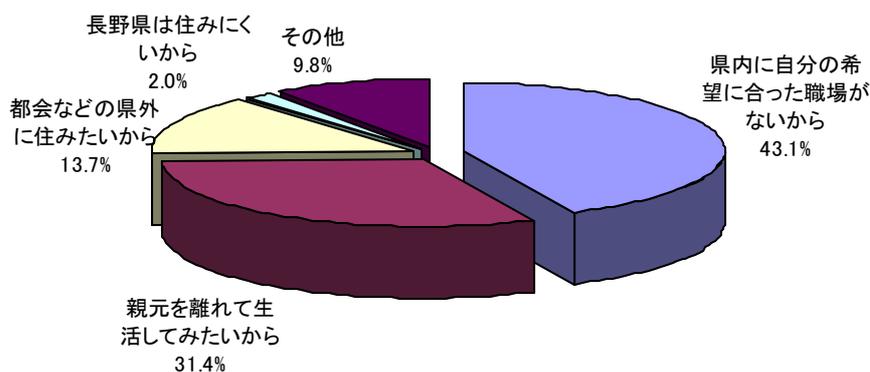
(6)－3 (6)－1 で2とお答えになったかたにうかがいます。

A. 県外へ就職したい主な理由は何ですか。

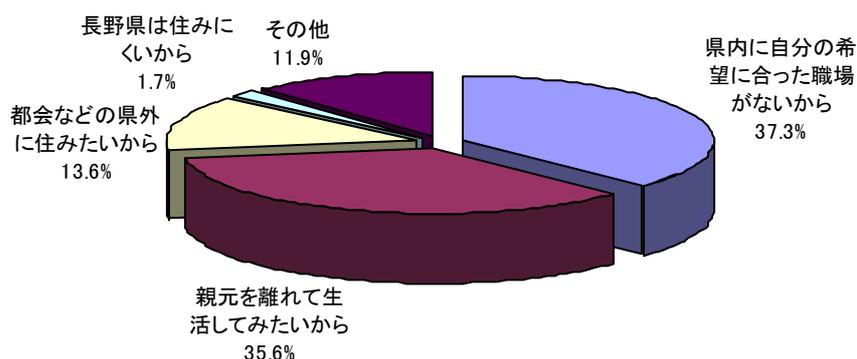
「県内に自分の希望にあった職場がないから」と答えた人が 43.1%と最も多く、ついで「親もとを離れて生活してみたいから」が 31.4%となっており、この両者が県外就職希望者の2大理由とする割合が高くなっている。

	平成17年度		平成9年度	
	計	構成比	計	構成比
県内に自分の希望に合った職場がないから	22	43.1%	22	37.3%
親もとを離れて生活してみたいから	16	31.4%	21	35.6%
都会などの県外に住みたいから	7	13.7%	8	13.6%
長野県は住みにくいから	1	2.0%	1	1.7%
その他	5	9.8%	7	11.8%
回答数	51	100.0%	59	100.0%

県外へ就職したい理由(平成17年度)



県外へ就職したい理由(平成9年度)

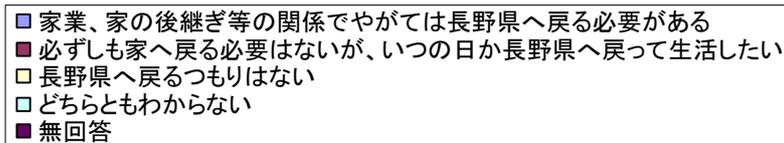
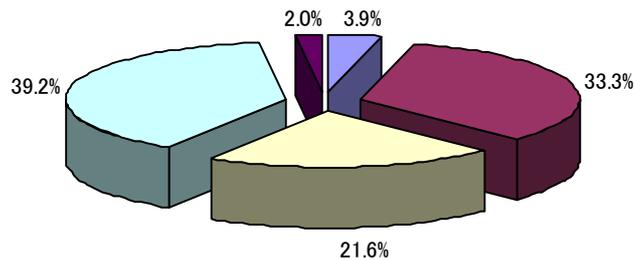


B. 将来の予定はどう考えていますか

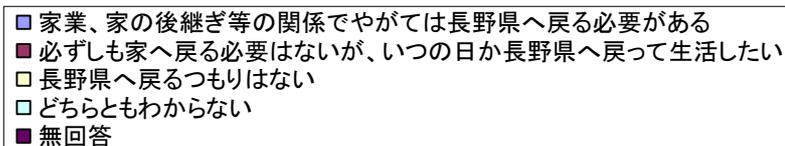
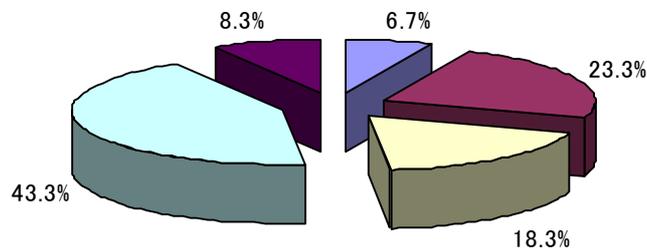
39.2%の人が「どちらともわからない」と将来の予定が不確定であるとしているが、「家業の関係で長野県に戻る必要がある」と「必ずしも戻る必要はないが、いつか長野県で生活したい」を合わせた 37.2%の人が何らかの形で長野県へ戻る予定をしており、県外進学希望者と比較して若干高くなっている。

	平成17年度		平成9年度	
	計	構成比	計	構成比
家業、家の後継ぎ等の関係でやがては長野県へ戻る必要がある	2	3.9%	4	6.7%
必ずしも家へ戻る必要はないが、いつの日か長野県へ戻って生活したい	17	33.3%	14	23.3%
長野県へ戻るつもりはない	11	21.6%	11	18.3%
どちらともわからない	20	39.2%	26	43.3%
無回答	1	2.0%	5	8.4%
回答数	51	100.0%	60	100.0%

将来の予定(平成17年度)



将来の予定(平成9年度)

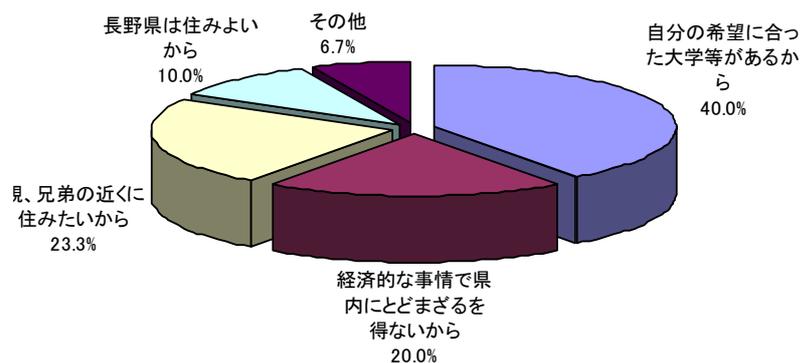


(6)－4 (6)－1で3とお答えになったかたにうかがいます。
 県内に進学したい主な理由は何ですか。

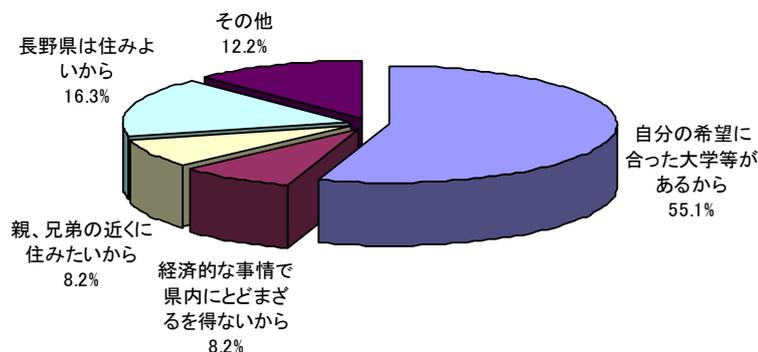
「自分の希望に合った大学等があるから」が40.0%を占め、県外進学希望者の理由と考え合わせると、進学希望者はあくまでも自分の希望にしたがって県内県外を選択をしているといえるが、進学希望者の約8割が県外進学希望となるのは、県内に希望にあう大学などが無いことが原因と考えられる。

	平成17年度		平成9年度	
	計	構成比	計	構成比
自分の希望に合った大学等があるから	12	40.0%	27	55.1%
経済的な事情で県内にとどまざるを得ないから	6	20.0%	4	8.2%
親、兄弟の近くに住みたいから	7	23.3%	4	8.2%
長野県は住みよいから	3	10.0%	8	16.3%
その他	2	6.7%	6	12.2%
回答数	30	100.0%	49	100.0%

県内で進学したい理由(平成17年度)



県内で進学したい理由(平成9年度)



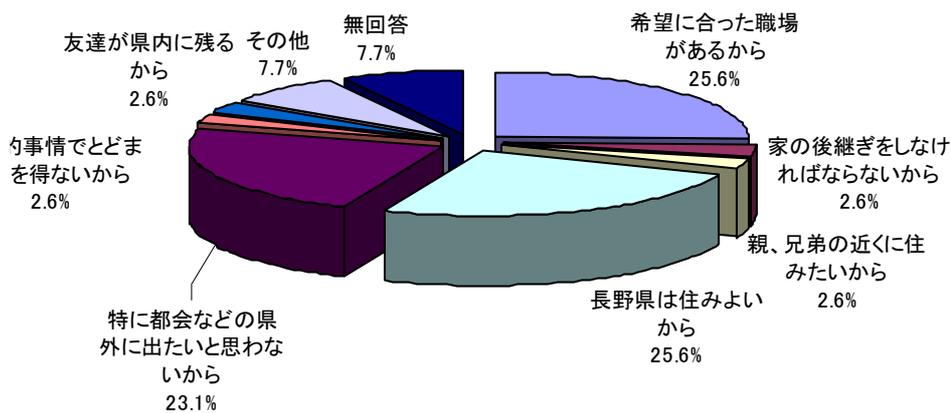
(6)－5 (6)－1で4とお答えになったかたにうかがいます。

県内で就職したい主な理由は何ですか。

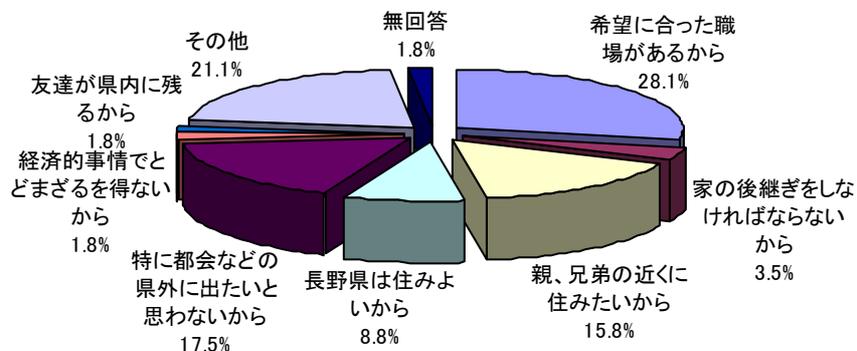
「長野県は住みよいから」と答えた人が 30.2%であり、前回調査に比べ大幅に増加している。ついで「希望に合った職場があるから」(25.6%)「特に都会などの県外に出たいと思わないから」(25.6%)の回答が並んでいる。

	平成17年度		平成9年度	
	計	構成比	計	構成比
希望に合った職場があるから	10	25.6%	16	28.0%
家の後継ぎをしなければならないから	1	2.6%	2	3.5%
親、兄弟の近くに住みたいから	1	2.6%	9	15.8%
長野県は住みよいから	10	25.6%	5	8.8%
特に都会などの県外に出たいと思わないから	9	23.0%	10	17.5%
経済的事情でとどまざるを得ないから	1	2.6%	1	1.8%
友達が県内に残るから	1	2.6%	1	1.8%
その他	3	7.7%	12	21.0%
無回答	3	7.7%	1	1.8%
回答数	39	100.0%	57	100.0%

県内で就職したい理由(平成17年度)



県内で就職したい理由(平成9年度)

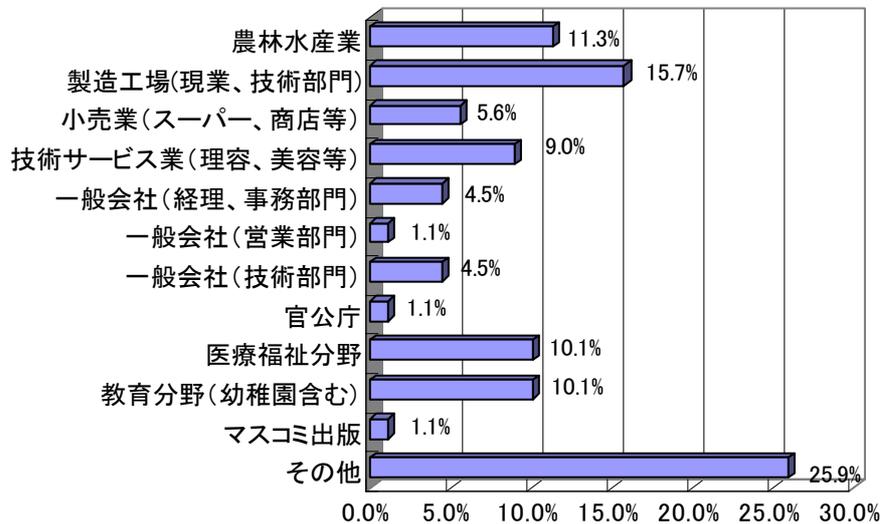


(6)－6 高校・大学卒業後、県内に就職を希望する方にうかがいます。
 どのような分野に就職したいと思いますか。

いまだ進路が決まっていないことを反映して、その他の割合が高くなっている。ついで、「製造工場」の15.7%、「農林水産業」の11.3%の順となっている。

	平成17年度	
	計	構成比
農林水産業	10	11.3%
製造工場(現業、技術部門)	14	15.7%
小売業(スーパー、商店等)	5	5.6%
技術サービス業(理容、美容等)	8	9.0%
一般会社(経理、事務部門)	4	4.5%
一般会社(営業部門)	1	1.1%
一般会社(技術部門)	4	4.5%
官公庁	1	1.1%
医療福祉分野	9	10.1%
教育分野(幼稚園含む)	9	10.1%
マスコミ出版	1	1.1%
その他	23	25.9%
無回答	0	0.0%
回答数	89	100.0%

県内のどのような分野に就職したいか

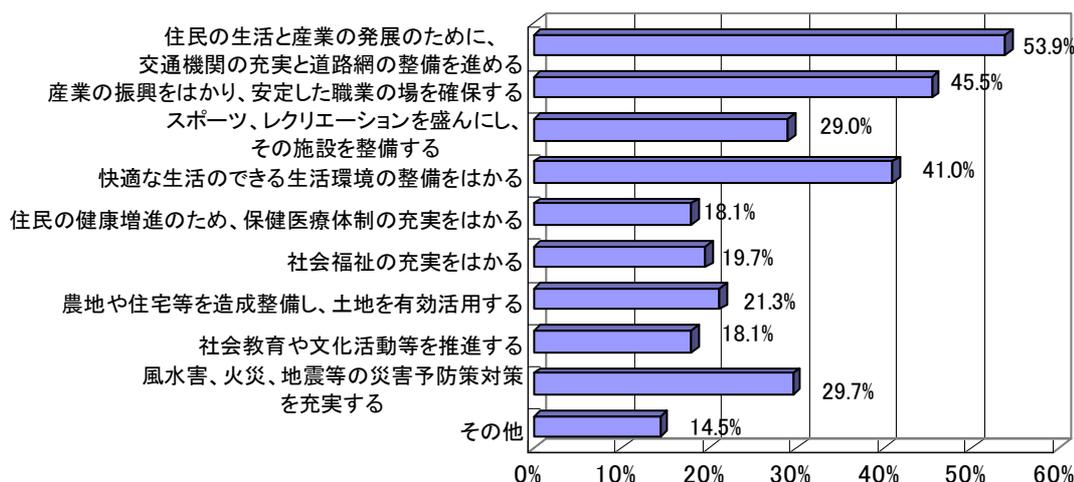


(7) より多くの人が豊かな生活を送るために、町村ではどのような施策を行ったらよいと思いますか。(三つ回答)

交通機関の充実と道路網の整備を進める」の回答が53.9%を占め、「安定した職業の場確保する」(45.5%)、「快適な生活のできる生活環境の整備をはかる」(41.0%)の順となっている。

	計	構成比
住民の生活と産業の発展のために、交通機関の充実と道路網の整備を進める	167	53.9%
産業の振興をはかり、安定した職業の場を確保する	141	45.5%
スポーツ、レクリエーションを盛んにし、その施設を整備する	90	29.0%
快適な生活のできる生活環境の整備をはかる	127	41.0%
住民の健康増進のため、保健医療体制の充実をはかる	56	18.1%
社会福祉の充実をはかる	61	19.7%
農地や住宅等を造成整備し、土地を有効活用する	66	21.3%
社会教育や文化活動等を推進する	56	18.1%
風水害、火災、地震等の災害予防策対策を充実する	92	29.7%
その他	45	14.5%
回答数	310	100.0%

町村がとるべき施策



(8) これからの木曾地域が日本や長野県の中ではたす役割として次にあげる事項はどの程度重要になるとお考えですか。

「1. 特に重要になる」と「2. 重要になる」と答えた人の割合が60%を超える項目を抽出すると、「環境保全の先進地域」(81.7%)、「森林地域」(61.6%)、「教育、研究、文化活動などの拠点地域」(63.6%)となる。住民アンケートにおいても「環境保全の先進地域」と答えた人がもっとも多く、自然環境と共生できる地域となることに期待している。

		1	2	3	4	5	無回答	計
人々に安らぎを与える観光・リゾート施設	平成17年度	60	116	84	27	19	4	310
		19.4%	37.4%	27.1%	8.7%	6.1%	1.3%	100.0%
平成9年度	69	120	125	42	49	4	409	
		16.9%	29.3%	30.5%	10.3%	12.0%	1.0%	100.0%
自然保護など環境保全の先進地域	平成17年度	136	117	45	2	5	5	310
		43.9%	37.8%	14.5%	0.6%	1.6%	1.6%	100.0%
平成9年度	176	123	81	16	12	1	409	
		43.0%	30.1%	19.8%	3.9%	2.9%	0.3%	100.0%
水や木材を提供する森林地域	平成17年度	90	101	85	17	13	4	310
		29.0%	32.6%	27.4%	5.5%	4.2%	1.3%	100.0%
平成9年度	44	93	195	40	33	2	407	
		10.8%	22.9%	47.9%	9.8%	8.1%	0.5%	100.0%
自然と調和した研究開発などの産業が集まった地域	平成17年度	52	118	113	16	6	5	310
		16.8%	38.1%	36.4%	5.2%	1.9%	1.6%	100.0%
平成9年度	66	106	172	44	18	4	410	
		16.1%	25.8%	42.0%	10.7%	4.4%	1.0%	100.0%
自然や伝統を生かした教育、研究、文化活動などの拠点地域	平成17年度	74	123	86	15	6	6	310
		23.9%	39.7%	27.8%	4.8%	1.9%	1.9%	100.0%
平成9年度	66	106	172	44	18	3	409	
		16.1%	25.9%	42.1%	10.8%	4.4%	0.7%	100.0%
快適な生活のできるモデル地域	平成17年度	44	87	121	41	12	5	310
		14.2%	28.1%	39.0%	13.2%	3.9%	1.6%	100.0%
平成9年度	31	62	206	55	54	1	409	
		7.6%	15.2%	50.4%	13.4%	13.2%	0.2%	100.0%
保健・医療・福祉サービスの先進地域	平成17年度	59	112	102	23	9	5	310
		19.0%	36.2%	32.9%	7.4%	2.9%	1.6%	100.0%
平成9年度	92	96	168	27	25	1	409	
		22.5%	23.5%	41.1%	6.6%	6.1%	0.2%	100.0%
安全でおいしい食料品の総合的な供給地域	平成17年度	68	120	97	12	8	5	310
		21.9%	38.7%	31.3%	3.9%	2.6%	1.6%	100.0%
平成9年度	65	95	178	37	33	1	409	
		15.9%	23.2%	43.5%	9.1%	8.1%	0.2%	100.0%

(注) 1 極めて重要になる 2 重要になる 3 どちらともいえない 4 あまり重要にならない 5 重要にならない

木曾地域が果たす役割(平成17年度)

